

めん山羊の健康観察を行いましょう！

一般的にめん山羊は病気に強い動物ですが、疾病の早期発見のために健康観察は欠かせません。以下の様な症状を認めた場合は病気の可能性があります。

- 食欲減少、反芻停止
- 活力低下（普段より動かない、表情に活気がない、耳や頭を下げている）
- 歩様の異常、ふらつき、起立できない
- 便性異常（犬のような糞、下痢、便秘）
- 歯ざしり

人間と同様に気温によって体調が左右されます。寒い日が続く場合には小屋に入れ、温かくする等、寒さ対策が必要です。

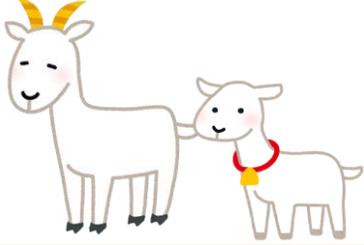


異常を認めた場合はご相談ください

平日：0772-43-1125

土日祝：080-1509-6608

※診療受付時間は8：30～9：00
です。



めん山羊の主な疾患



●腰麻痺

指状糸状虫が脳脊髄に迷入し、引き起こす病気です。起立不能に陥り、予後不良となります。

【症状】歩様異常、起立不能、斜首

●鼓脹症

マメ科牧草や濃厚飼料を多給した場合、一胃内で異常発酵を起こし、左腹部が膨大化します。反芻やげっぷが困難となり、重度の場合呼吸困難に陥ります。

【症状】腹部膨満、腹部痛(腹部を蹴る)、呼吸が速い

●捻転胃虫症

野外で経口摂取すると胃、腸管の粘膜に寄生して吸血し、下痢、貧血を引き起こします。

【症状】下痢、貧血、下顎・下腹部のむくみ

●条虫症

野外で経口摂取すると腸管に寄生し、栄養吸収や腸運動を妨げます。肛門から虫体が垂れ下がることもあります。

【症状】下痢、便秘、食欲不振

●コクシジウム症

野外で経口摂取すると腸管に寄生し、腸粘膜の破壊をおこします。発症は若齢の個体が多く、下痢や血便が認められます。重度の場合は脱水症状を示すこともあります。

【症状】下痢、血便、脱水